



大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
TEL 077-525-5232
TEL 077-521-2775
FAX 077-525-5232
http://www.biwa.ne.jp/ffs/
E-Mail: ffs@biwa.ne.jp

3年連続の日米合同演習 に広がる怒りと不安

2・20あいは野大集會に550人

組合旗先頭に 先輩組合員と家族 10人が参加

2月20日、ふるさとをアメリカ軍に使わせない滋賀県連絡会による「日米合同演習反対2・20あいは野大集會」が演習の行われる今津で開催され県内の民主団体・労働組合・市民団体や近畿の平和団体から550人が結集し、単組から先輩組合員と家族など10人が参加しました。



集會は高島市民会館で開催され主催者のあいさつで杉原秀典代表（滋賀県労連議長）は、「あいは野の演習場での共同訓練が3年連続である。自衛隊とあいは野が米軍に組み込まれている。自衛隊が攻撃型に変わり、あいは野は本格的な米軍の施設のようになっている」と述べました。森茂樹県議の情勢報告について日本



金融労連近畿地協は2月19・20日京都市内において春闘学習会を開催しました。学習会に北陸や九州沖縄地協など4地協からも参加があり全体で44名が参加し、当単組から3名、さざなみネットから4名が参加しました。兵庫学習協仲村富夫事務局長は講演で「人間は働くことで言語を得た、賃金は労働力の再生産の費用」と賃金論を解き明かし、「非正規労働者をモノ扱いしている日本社会のあり方を労働組合が春闘委員、安保破棄岡山県委員会、大阪平和委員会から連帯の挨拶がありました。集會は、あいは野平和連絡会からの現地の決意表明のあと、集會宣言（別掲）

近畿地協が
学習会開催

闘で変えていく」と述べられました。特別報告は、「三菱東京UFJ銀行の非正規切りとの闘い」「八千代のパウハラ・退職扱い強行事件」「きらやかかの分裂策動と不当労働行為損害賠償裁判、再雇用拒否事件」などについて行われました。全体会議のあと、4つの分散会に分かれて職場の実態を出し合いながら運動の交流を行い、春闘勝利にむけた決意を固めました。



を採択し「頑張ろう！」の三唱で終わり、陸上自衛隊今津駐屯地までデモ行進を行いました。

民主運動に 幅広い共同の広がり

2月27日大津市内において第4回滋賀県民主運動・市民運動交流会が開催され中島委員長と谷特別執行委員が参加しました。今回のメイン発言は「N E G 派遣労働者の団交権」今村伸治滋賀県労連事務局長、「TPPシンボの開催と今後」西田清革新の会事務局長、「路上生活者支援の輪の広がり」小坂時子大津夜回りの会理事長、「県立高校の統合に対する運動」杉原秀典県立高校の統廃合を考える会代表、「広がる湖北の高校を守る会の運動」對月慈照湖北の高校を守る会事務局長でした。それぞれ中身の濃い報告で良い交流会となりました。

「われらは、全世界の国民がひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確信する。」
日本国憲法前文には、「平和に生きる権利」「平和的生存権が明記されています。私たちには、戦争の被害から免れる権利、平和的な施策によって幸せな生活を営む権利、平和を守るために政府に戦争をさせない権利があります。しかし、この権利は実現されていないと言えるでしょうか。近年、近畿最大のあいは野基地は急速に軍事強化されています。「移動監視隊」や「無人偵察機隊」が新たに配備され、「都市型戦闘訓練施設」が増設され、市街地での徒歩訓練やヘリコプターの飛行訓練、実弾射撃訓練等が年間350日以上行なわれています。また航空自衛隊鷹野分屯基地に配備されている、迎撃ミサイル・P A C 3が、

平和的生存権を脅かす 米軍来演の常態化

12月の「日米統合演習」に参加し、福岡県芦屋基地等に移動展開しています。さらに今回の演習に普天間へのヘリ訓練の一部を移転させる動きがありました。今回の日米合同演習は、米軍来演の「常態化」や、いっ

その「日米軍事一体化」につながるものであり、県民の「平和的生存権」を大きく脅かすものです。私たちはこれまで、「海外派兵のための日米合同演習やめよ」と声を上げてきました。日本がアメリカと共同して軍事的に対抗することは、「際限ない軍拡への道」を歩むものです。私たちは、憲法9条をもつ国として、国家間の紛争は平和的に、外交的に解決すべきだと考えます。

2011年2月20日「ふるさとをアメリカ軍に使わせない滋賀県連絡会」日米合同演習反対2・20あいは野大集會（集會宣言より）

